



浜田水産高校「同窓会会報」



〒697-0051

浜田市瀬戸ヶ島町25-3

TEL 0855-22-3098 Fax 0855-23-4811

E-mail hamadasuisan-hs@edu.pref.shimane.jp

H P http://hamasui.ed.jp

会長挨拶

浜水会会長 山崎 晃
 浜水会員の皆様におかれましては、全国各地で日々ご活躍のこととお喜び申し上げます。平素は母校及び同窓会「浜水会」の発展のため、物心両面にご高配を頂き、厚く御礼を申し上げます。



令和元年末に中国で発生した新型コロナウイルスは全世界に広がり、日本中にも急速に拡大していきました。政府は早速経済対策の補正予算を可決し、一人10万円の給付金が支給されました。不要不急の外出、夜間の飲食店営業禁止等による対応で落ち着いたかと思われた矢先、オミクロン株発生により再び全世界に広がっていきました。浜田市におきましてもこの2ヶ月間、一日29名の新規感染を最高に、10数名という日が続き、その後10名以下と減少しやっと先日0名の発表がありました。このまま数値が上がり終息を迎えることを願うばかりです。このような状況ですが、卒業生の皆様にはいかがお過ごしかと案じております。

さて、浜水会におきましては、新型コロナウイルスの影響で案内は頂いても全ての学校行事に参加することができませんでした。浜水会の会長として例年出席してきました入学式、浜田水産高校後援会、体育祭、水高祭、郷土芸能体験学習「浜田民謡教室」、課題研究発表会、卒業式等々であります。ただし、2月28日の浜水会入会式は、事務局からの案内により出席し、立派に成長した卒業生42名の生徒諸君の顔を見ながら、激励とお祝いの挨拶をすることができました。3年前の入学式に参列した生徒諸君が、3年間の学業を終えて立派に成長された姿を見て頼もしく感じました。海洋技術科は28名中16名が県外からの生徒ということです。また、卒業生のうち11名が専攻科へ進学し、9名が漁業を含む船舶関係の会社へ就職しました。食品流通科は14名中4名が専門学校等へ進学し、6名が県内就職、3名が県外就職という状況でした。本科生42名、専攻科生12名の皆さんの皆様のご活躍を期待しております。

私は平成19年に会長に就任して16年目となりました。そろそろ新会長にバトンタッチするべく、更なる浜水会の組織充実のため会則の改正に取り組んでいる所です。この2年間は役員会を開催することができず、書面決議により役員改選をしてきました。今後は現副会長3名の中から次期会長を選出したいと思っています。

このほど令和4年度の高校入試合格発表がありまし

た。その結果新1年生は、海洋技術科31名、食品流通科18名の計49名、専攻科漁業科6名、専攻科機関科5名の計11名でスタートすることになりました。本科は両科とも40名の定員なので、旧職員であり浜水会会長でもある私の思いとしては、60名程度の入学生を確保する努力が必要だと感じている所です。

浜水会では学校創立70周年記念事業において、校舎前への丸川久俊校長先生のモニュメントサイン建立に取り組みました。以来5年が経過しましたが、今でも色々な方から「浜田市にとって素晴らしい事業をされましたね。」と言われるたびに、丸川久俊校長先生の偉大さを感じています。卒業生の皆さん、湾頭高き学び舎我が母校、浜田水産高校の校舎前に佇むモニュメントサインを是非ご覧になって頂きたいと思えます。

終わりに、浜田水産高校の益々の発展と、会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしますと共に、浜水会発展のため、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

令和3年度を振り返って

校長 福井文生

浜水会の皆様には、平素より本校の教育活動に対して、多大なるご理解とご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、3月1日に第72回卒業・修了証書授与式を行い、本科生42名、専攻科生12名が、この学び舎から新たなる航海へと出港しました。本科生の86%が地元企業をはじめ、海運漁業水産加工業等関連企業へ、専攻科生は全員が船舶乗組員、水産教育者として就職しました。教育目標の1つでもある「水産・海洋の専門的知識・技術を身に付け、社会に貢献できる人材を育成する。」については達成することができたのではないかと考えます。

学校の状況については特筆すべきことが2つあります。1つは、弓道部において食品流通科2年の落合南海さんが、全国入賞しました。島根県選手権大会で個人優勝し、茨城県水戸市で昨年12月に行われた第40回全国高等学校弓道選抜大会女子個人戦に出場。予選、準決勝を突破、決勝で3本決め見事5位入賞しました。弓道の全国入賞は、国体島根県チームの一員として団体4位に次ぐ成績です。全国大会出場の際には、浜田合庁にて懸垂幕を掲げて、浜田市民の方にも広報したところでした。

もう1つは、浜田市内の全小中学校の給食に、浜田の水産ブランド「どんちっち三魚」の一つにもな



っているノドグロが丸ごと1尾登場する「ノドグロ給食」プロジェクト。これに食品流通科も参加して、4300尾のノドグロを1尾ずつ丁寧に下処理作業にあたりました。生徒は手際よく専門の道具でえらを削り、内臓を取り出し、真空パックして冷凍保存しました。その後市内の各給食センターが、塩焼きや煮付けにして給食に出されました。給食前には全学校でDVDを視聴。そこには、関わった人のPRということで、漁業者の思いと本校での下処理の様子、高校生及び給食センターから小中学生へのノドグロ給食への思いが撮影してありました。このプロジェクトを通じて、小中学生に次の変容、効果がありました。①魚食の普及 ②小学5年生以上は社会で学んだ水産の理解が深まる ③地元の魚による地産地消についてよく理解 ④下処理を高校生が実施することで、大切に食する気持ちの高揚 ⑤骨付き魚の食仕方の普及 ⑥ふるさとへの愛着向上 ⑦給食がどのようにして作られているか理解が深まる ⑨まるごと1匹魚を食べる良さの経験 ⑩高級魚が給食に登場した事による給食への愛着向上です。また、市内の全小学生、中学生、教職員に水産高校のPRが実行できたとともに、感謝されることで本校の生徒も、自分たちの取り組みが形となり、それが地域貢献に繋がることを実感しました。

最後に今後も浜田水産高校の灯りをしっかりと照らし、地域と共に・地域に貢献する・魅力と活力ある学校になれるように頑張るつもりです。浜水会の皆様には、いろいろな意味でご協力をお願いすることと思いますが、引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。



小学校の児童から届いたノドグロ給食のお礼

令和3年度 浜水会役員会（中止となりました）

日時・会場など具体的な予定を立てる前に、現状ではコロナウイルス感染症予防の観点から役員会の開催は適当ではないと判断し、2年連続して中止となりました。役員の皆様には議案を郵送し、書面票決による議決をお願いしたところです。

また、令和2年度開催予定となっていた総会は3年

度に延期としておりましたが、こちらも再延期となり、令和4年度開催予定となりました。

令和3年度役員会の議案と、書面票決票による回答の結果を以下のとおりお知らせします。

【議案】

1. 令和2年度事業報告
2. 令和2年度会計・監査報告
3. 令和3年度事業計画（案）
4. 令和3年度予算（案）
5. 浜水会定期総会の開催について
6. 令和3年度役員（案）
7. 全国水産・海洋系高等学校カッターレース大会
8. その他（意見等）

【書面票決票回答の結果】

議案	議案意見等	賛・否
1	・原案どおり異議なし	賛成25 反対 0
2	・原案どおり異議なし	賛成25 反対 0
3	・原案どおり異議なし	賛成25 反対 0
4	・原案どおり異議なし	賛成25 反対 0
5	・原案どおり異議なし ・可能な限り開催してほしい ・2回目のワクチン接種終了者で開催してはどうか	賛成25 反対 0
6	・原案どおり異議なし	賛成25 反対 0
7	・原案どおり異議なし。 ・カッター部の練習の声を自宅で聞き「エール」を送っています。コロナに負けずベストを尽くして下さい。 ・大会が開催されず残念です、関係諸氏の協力に感謝します。 ・実施にあたっては大いにPRすること。 ・書面どおりです。ぜひ浜田市での開催を望みます。	賛成25 反対 0
8	・水高とプチマタンのコラボによる「サバ・カレーパン」etc. 今後も水産浜田ならではの商品開発に期待しています。 ・いつも情報ありがとうございます。貴会の発展を望んでいます。 ・ワクチンが終わり。少し安心しています。 ・コロナ禍の為活動できず、また予算消化にも苦慮するところですが、終息後の事業について、今検討してみるのも楽しみかなと思います。	

※議案7の浜田市で開催予定だった「令和3年度全国水産・海洋系高等学校カッターレース大会」は中止となり、役員の皆様にお知らせしました。

浜水会入会式

令和4年2月28日(月)に浜水会入会式が開催されました。この日から42名の卒業生が新会員となったわけです。式典では山崎会長から歓迎と激励の言葉をうけて、入会者を代表して海洋技術科3年の下野正勝君が、「これからは、諸先輩方のご指導、ご助力を頂きながら、卒業生としてさらなる伝統の継続を担い、母校の発展のため力を尽くすことを誓います。」と力強く宣誓してくれました。卒業後は別々の道を行って行きますが、浜田水産高校の同窓生という絆は一生持ち続けることとなります。どうかこの絆を大切にしてほしいと思います。

令和3年度卒業生・専攻科修了生の進路先事業所及び進学先学校の名称を掲載しておきます。会員の皆様の近くにある事業所や学校であれば、お世話になることがあるかもしれません。その節はよろしくお願ひします。

【令和3年度卒業生・専攻科修了生進路先】

	事業所・学校名	地域	業種・学科等		
海洋技術科	就職	今治造船(株)	広島 造船		
		石見工業(有)	広島 建設		
		江田島海運(株)	広島 曳船		
		親力海運(株)	広島 内航海運		
		広洋海運(有)	広島 内航自動車運搬		
		陸上自衛隊			
		島根県合板(株)	浜田 合板製造		
		JAIわみ中央地区本部	浜田 総合サービス		
		昭和日タマリタイム(株)	北海道 内航タンカー		
	進学	水産庁		漁業取締	
		瀬戸内シーライン(株)	広島 フェリー		
		大祐漁業(株)	愛媛 旋網漁業		
		太陽ケーブルテック(株)	江津 電線製造		
		富士海運(株)	山口 内航セメント運搬船		
		北陽水産(株)	鳥取 力二籠漁業		
		沖縄ホテル観光専門学校	京都 美容科		
		専攻科	浜田 漁業科・機関科		
		食品流通科	就職	(株)エービーシーキャピタル	兵庫 生活関連サービス
				企業警備保障(株)	益田 空港警備
旭豊福祉会	浜田 介護				
祥洋建設(株)	浜田 総合建設業				
(株)ナガイパン	広島 食品製造				
浜田福祉会美川苑	浜田 介護				
(株)原商	浜田 リース業				
マルハマ食品(株)	浜田 食品製造				
岡山ビジネスカレッジ	岡山 アニメ・イラスト科				
進学	京都福祉専門学校		京都 福祉科		
	浜田准看護学校		浜田 看護		
	リハビリテーションカレッジ島根		浜田 作業療法科		
	専攻科		就職	イノガストラנסポート(株)	兵庫 内航タンカー
				上野トランステック(株)	東京 内航タンカー
				宇部興産海運(株)	山口 内航セメント運搬船
エスオーシーマリン(株)		東京 内航セメント運搬船			
(株)キャプテンライン		大阪 旅客船			
(株)東栄リーファーライン		東京 外航冷凍運搬			
国土交通省中部地方整備局		愛知 浚渫・油回収船			
島根県職員(海事職)		松江 神海丸乗組員			
島根県職員(教育職)		松江 浜田水産高校職員			
独立行政法人海技教育機構		神奈川 練習船乗組員			
富士海運(株)		山口 内航セメント運搬船			
宮崎産業海運(株)		大分 内航RORO船			

令和3年度 学校の様子

入学式：4月9日(金)



全員マスクをつけて入学式

昨年度に続き在校生は自宅及び寮で待機。新入生・保護者・職員のみで開催しました。入学生は海洋技術科29名、食品流通科12名の合計41名で、そのうち県外からの生徒は12名でした。以下に出身中学校別の生徒構成数一覧を掲載しておきます。参考にしてください。

地域	中学	1年	2年	3年	専1	専2	計	地域計		
浜田市	一中	8	4	3			15	87		
	二中	2	4	10	1	1	18			
	三中	9	10	10		1	30			
	四中	3	2			1	6			
	浜田東	1	2		1	1	5			
	金城		7		1		8			
	三隅	1	1	1			3			
	弥栄	1	1				2			
	江津市	青陵	3	3	1				7	7
	邑智郡	美郷町	1						1	1
県東部	飯南町			1			1	4		
	出雲市			1			1			
	松江市			1			1			
	雲南市		1				1			
	広島	3	2	5	3	1	14		49	
鳥取			1		1	2				
岡山	1	1			2	4				
兵庫	1	1			1	3				
大阪	1	1	3	2		7				
奈良	1					1				
滋賀			1			1				
岐阜	1					1				
埼玉	1	2	1		1	5				
神奈川	2					2				
東京	1		2	1	2	6				
千葉			1	1		2				
海外			1			1				
合計		41	44	42	9	12	148	148		

各科の実習

海洋技術科では漁業生産の実習として、3年生が5月、1年生が6月にトビウオの刺し網漁業実習を体験します。食品流通科は周年にわたり、季節の材料を使って水産食品の製造実習を行っています。



海洋技術科1年生刺し網実習、船酔いの洗礼



食品流通科3年生サバ水煮缶詰製造実習

体育祭：9月4日（土）

新型コロナウイルス感染症対策として、緊急事態宣言及びまん延防止重点措置に該当する都府県からの来校を遠慮して頂いたため、県外からの保護者は鳥取県の方のみとなりました。



体育祭を楽しむ生徒たち

水高祭：10月22日（金）

昨年度と同様に日程を2日から1日に縮小したうえに、参加者は生徒と学校職員のみとして行われました。規模は小さくなりましたが、限られた環境と条件の中でそれなりの工夫をし、生徒にとっては思い出に残る水高祭となりました。このような状況でも楽しむ術を生徒たちは見つけ出すようです。また、食品流通科の実習製品は生徒・保護者・職員を対象として販売されました。1・2年生は例年どおりの水高祭を知らないのだから、こんなものだと思っているとしたら、少しかわいそうな気がします。



模擬店：教員と専攻科生によるバルーンアート



女子生徒のダンスパフォーマンス



生徒による石見神楽「八岐大蛇」

題研究発表会

今年度も「いわみーる」で開催することができず、視聴覚教室で研究班が発表している様子を、各教室のプロジェクターからスクリーンに映し、それを視聴するという校内オンライン発表会となりました。目の前に観客がないので緊張しなくていいという生徒もいますが、人前で発表するという体験も、課題研究の大きな目的の一つなので、来年度はぜひ「いわみーる」に来賓・保護者を招き、生徒によるプレゼンテーションを見てもらえるよう願っています。

以下は課題研究発表テーマの紹介です。次回「いわみーる」で開催されれば、会員の皆さんにも観に来て頂きたいと思います。

【海洋技術科】

1. 漁業班
発表題目「SUIKO PROJECT」
内容：底延縄及び竿釣りによる浜田港周辺の漁業資源調査、植林活動、藻場再生を促進するための鉄炭団子作成
2. 養殖班
発表題目「フリー配偶体技術を利用したワカメ養殖の研究」
内容：養殖技術の蓄積と継承、早期出荷に向けた海水冷却装置の試作、安価な市販液肥のワカメ養殖への利用可否
3. ものづくり班
発表題目「ROVの作製と改良」
内容：市販 ROV キット組立、安価な ROV 作製の可能性探求、高速切断機・プラズマ切断機・アーク溶接機を使った傘立て作製
4. 資格取得班
発表題目「資格取得班による課題研究」
内容：資格試験に向けた勉強の過程で、自分の課題を考え、その理由を調査することから解決方法を見つけて実践する。



教室での視聴

【食品流通科】

1. 浅原班
発表題目「水高缶詰の利用法について」
内容：実習製品のサケ・サバ・マグロ缶を利用して、炊き込みご飯の素缶詰を試作する。米

と具材とのバランス、できあがりの色味を見極め、商品化の可能性を探る。

2. 葛城班
発表題目「浜田冷麺 第2章について」
内容：浜田特産 B 級グルメ「浜田冷麺」の試作。出汁は海洋技術科が漁獲したトビウオ、トッピングは地元企業とのコラボ商品の魚醤キムチ、まる姫ポークのチャーシュー、地元産の卵、ネギ、ごま
3. 瓶詰め班
発表題目「瓶詰めアレンジ」
内容：ツナマヨ瓶詰めづくりの過程で、マッチする香辛料の選択、料理への応用の可能性、保存期間の調査
4. 缶詰班
発表題目「タコ缶詰の開発」
内容：浜田で水揚げされるミズダコでタコ飯の缶詰を開発する。できあがりの米の固さを調節。出汁の量、味付け、具の量について最適解をさぐる。



部活動の結果

- 【野球部】**
- ◎石見地区大会 (5/29：大田市民球場)
浜田水産 0-13 津和野
 - ◎全国高等学校野球選手権大会島根大会 (7/15：県立浜山公園野球場)
浜田水産 0-9 松江南高校
 - ◎1年生大会 (10/9：石見スタジアム)
浜田水産・浜田商業 1-11 邇摩 (合同チーム)
- 【カッター部】**
- 全国水産・海洋系高等学校カッターレース大会が浜田で開催予定でしたが、コロナウイルス感染症予防のため中止となりました。
- 【ハンドボール部】**
- ◎中国大会島根県予選 (4/17・18：江津市民体育館)
浜田水産 11-28 松江東
 - ◎県総体 (6/3・4・5：松江市総合体育館)
1回戦 浜田水産 9-46 飯南

順位決定戦 浜田水産 20-36 松江工業
【弓道】

- ◎中国大会島根県予選 (4/24・25：大田高校)
女子個人において落合南海が12射8中で5位入賞、中国大会出場権獲得
- ◎県総体 (6/3・4・5：江津工業)
男子団体5位、女子個人において山根美月が8射7中で5位入賞
- ◎中国大会 (6/19：大田高校)
落合南海出場、入賞できず
- ◎国体少年男子最終選考 (6/13：江津工業)
男子で江木勝矢が3位となり国体選手へ選出
- ◎国体中国ブロック予選 (8/21・22：岡山県倉敷市)
島根県少年男子予選敗退
- ◎西部地区新人大会 (9/18・19：益田市弓道場)
女子個人において落合南海が8射7中で優勝、中国新人大会出場権獲得
- ◎県選手権大会 (10/30・31：松江商業)
女子個人において落合南海が12射11中で優勝、全国選抜大会への出場権獲得
- ◎中国新人大会 (11/19・20・21：山口県周南市)
女子個人の落合南海は8射5中で入賞できず。女子団体は24射15中で予選通過、決勝トーナメント1回戦で山口中等教育に3-6で敗れてベスト16
- ◎全国選抜大会 (12/21・22：茨城県水戸市)
落合南海が出場、予選4射3中、準決勝4射3中で決勝の射詰めに進出、競射の結果5位入賞。



女子団体チーム中国大会での行射

【卓球】

- ◎中国大会島根県予選 (4/23・24・25：松江市総合体育館)
入賞者無し
- ◎県総体 (6/3・4・5：益田市民体育館)
入賞者無し
- ◎県卓球選手権大会 (9/10・11・12：島根県立体育館)
入賞者無し
- ◎新人大会 (11/4・5・6：島根県立体育館)
入賞者無し

【写真部】

- ◎春季コンクール

- 特選 齋藤 璃来 「影」
- 入選 益原 出帆 「つり橋の下」
- 入選 中山 美海 「青春」

◎秋季コンクール

- 特選 齋藤 璃来 「羽」
- 入選 齋藤 璃来 「青空」
- 入選 杉井 琉河 「夕焼けの波打ち際」

【美術部】

◎県高校美術展

- 入賞 小宅 隆平 「木々」
- 竹内 千博 「木洩れ日」
- 刘 爽 「三途の川の向こうに」
- 福井 豪 「ログハウス」
- 福原 彩望 「空想の街」

【乗船実習】

コロナウイルス感染症の影響で、神海丸での乗船実習も対策を求められます。生徒が乗船してから2週間は感染の有無を確認するため、浜田と隠岐を行ったり来たりします。その後太平洋へ向かうわけですが、そのため操業の日数が少なくなります。今年度の海洋技術科2年生は3学期乗船でしたが、1回目の操業後に生徒と乗組員から発熱者が出たため、大事をとって三崎港へ引き返しました。入港後の検査でコロナウイルスではないと判明し、再び漁場へ向かいました。しかし、航海に日数を消化したため、2度目の操業は4回しかできず、合わせてたった5回の操業となりました。生徒にとっては物足りないマグロ漁業実習となったようです。もちろんホノルル入港はありませんでした。

事務局より

広島支部及び関西浜水会総会も、令和3年の早い時期に中止が決まりました。また、本部での役員会と総会も同様に中止となっています。収まりかけてはぶり返す現在のコロナウイルスへの感染状況では仕方ないことも知れませんが、2年続けて会員の皆さんが集う機会が失われたことになり、開催できない期間があまり長くなりすぎないうちに、ぜひ次回の総会等を工夫しながら開催できないかと考えている所です。



ホノルル港に係船中の神海丸